

- 町住民生活課：町職員や自主防災組織育成リーダーが、防災に関する講座を実施します。
- 防災教育教材「クロスロード」「なまずの学校」：防災についてゲーム形式で学べます。
- 災害図上訓練「DIG」：住宅地図に危険箇所や避難所などを記入し、参加者全員で防災の共通認識を高めます。
- 避難所運営ゲーム「HUG」：避難所の運営についてゲーム形式で体験できます。
- 町消防署
  - 消火訓練：実際に火を使い、消火器の使い方を学べます。
  - 煙体験訓練：「煙体験ハウス」を使い、火災現場からの脱出の仕方について体験できます。



自主防災組織で訓練や活動を実施するうえで、必要な消耗品などは「自主防災組織等活動支援助成金」を活用することができます。助成限度額は2万円です。

また、訓練に合わせ、具や町の食料の備蓄品の提供も行っています。ぜひご利用ください。

**活動に必要な消耗品などの購入を町が助成**

● AED講習会：AED（自動体外式除細動器）を使用した救急救命の方法について学べます。

● その他：119番通報の仕方や、簡易担架の作り方の講習などを行っています。

この他に、町では、隔年で地区を入れ替えて総合防災訓練を実施しています。自分の地区に回ってきた場合は、積極的に参加し、避難場所や資機材の使い方などについて確認しておきましょう。

**町内の防災訓練等の活動例**



昭辰町自主防災会でのAED講習会

館町自主防災会での災害図上訓練「DIG」

馬川地区公民館で行われた、防災教育教材「クロスロード」を使った訓練

五城目第一中学校での煙体験訓練

湯ノ又町内自主防災会での消火訓練

上山内自主防災会での防災資機材の使用訓練

シリーズ 高めよう防災意識  
**「共助」で災害に備える**



「共助」で災害に備える自主防災組織の取り組みは現在、29町内会で行われています（写真は西野町内会自主防災会）。

- ◆ 馬川地区：館越、久保
- ◆ 馬場目地区：町村、中村、帝釈寺、蓬内台、寺庭
- ◆ 富津内地区：上山内
- ◆ 内川地区：黒土、湯ノ又
- ◆ 大川地区：大川、西野、谷地中
- ◆ 森山地区：岡本一区、浦横町

**29の町内会で自主防災組織が設立**

町では現在、次の29町内会で自主防災組織が設立されています。

大規模災害時には、道路の通行止めや同時多発的な火災の発生などにより、数日の間は消防、警察、自衛隊など「公助」の助けは来ません。このことは、過去の災害からも明らかです。

そのような中、自分の命は自分で守る「自助」はもちろんのこと、隣近所や地域の皆さんで協力し合う「共助」がとても大切です。この「共助」の取り組みの核となるのが「自主防災組織」です。

地域の皆さんで日ごろの備えについて考え、自主防災組織の設立やこれからの防災活動について検討してみませんか。

町住民生活課 (0852・5112)  
町消防署 (0852・2028)

**自主防災組織を設立してみませんか**

町では、各町内会に自主防災組織の設立をお願いしています。設立には、町内会総会などで規約を整備し、町へ届け出ることとしており、規約の例は、町住民生活課で用意しています。

**各種出前講座等を実施し活動をサポート**

設立を検討している場合は、町住民生活課へお気軽にご相談ください。また、隣り合う複数の町内会が合同で自主防災組織を設立することも可能です。

災害の発生時に冷静に対処するた